

第七回大會報告書目次

序	松岡駒吉	調査部報告	四五
加盟組合一覽	一	音楽部報告	二六
役員氏名	四	教育出版部報告	三七
一般會務報告	五	事業部報告	四〇
一、第六回大會決議事項の執行	五	一、消費組合一覽	四一
二、昭和四年度のメーデー	八	二、生産組合一覽	四二
三、役員人事	八	三、加盟組合事業状況	四三
四、大阪聯合會左翼除名に關する態度	九	四、各地労働會館	四四
五、理事会及執行委員會	九	政治部報告	四五
六、日本労働會館建設運動	一五	附 録	
七、團體協約	二三	一、關東労働同盟職業相互金庫規約	四七
會計報告	二六	二、社會民衆黨五十六議會提出労働組合法案	四八
罷業相互金庫事業報告	二八	三、同 一健康保險法案	五〇
爭議部報告	三〇	四、社會民衆黨所屬各種議員數	五二
組織部報告	三四		

序

第七回大會報告書を提出するに當つて、一ヶ年間に於ける足跡を顧みるに、幾多の重要な教訓を發見する。本年度の組織方面の成績は、必ずしも良好であつたとは云ひ難い。然し乍ら政治的並に經濟的反動の下に於いて、着々として健實なる歩武を進めつゝあることは充分認めらるゝところである。

中小工場は、我國の産業に於いて重要な地位を占めるものであるから、この方面に於ける労働組合運動も亦極めて重要な性質を有するものである。然し、中小工場を基礎とする労働組合は、稍とすれば、統制の點に於いて複雑となり、財政の點に於いて膨脹を來す傾向がある。我等の充分戒心を要するところである。

尙、財界の不況は、先づ中小工場に基大なる打撃を與へつゝあるのであるから、従つて労働組合も、常に慎重なる態度を持し、眞に組合員の利害を代表する方策を誤つてはならぬ。

有力なる産業別労働組合の存在せざることは、我國労働組合運動の缺陷である。我等は産業別に労働組合を組織し整理し、統一する爲めに、一層の努力の必要ありと信ずる。

漸時、労働組合を承認せんとする傾向も一方に認めらるゝが、同時に尙、頑強に労働者の團結権を蹂躪せんとする資本家の存在する事も顯著なる事實である。かゝる資本家に對しては、戦闘力を集中して、今後も徹底的に闘争しなければならぬ。

未組織労働者の組織化運動を進むるに當つて、我等の考へねばならぬことは、一般労働者が労働組合の必要を知らないのではなく、眞に信賴するに足る労働組合を求めて居るのであると云ふ點である。従つて單なる宣傳を以つては労働者を